



「まちに開かれた芸術文化拠点」を目指す京橋彩区が開催する芸術文化講座です。2020年の第1回目(通算第4回)は、1月18日に開館したばかりのアーティゾン美術館(旧ブリヂストン美術館)の空間デザインを担当されたTONERICO:INC.の米谷さんと君塚さんをお招きしてお話を伺います。

お二人からは「初期の提案から詳細設計までを辿りながら、変わらなかった思いを語ります。そこから見えてくる普遍的な美意識と空間の関係に思いを馳せたいと思います。空間デザインは美術なのか、美術としての空間デザインは何なのかをいっしょに考えたいと思います」とのコメントをいただいています。

< 第4回 >

不揃いの自然体

— アーティゾン美術館の空間デザインについて —

日 時： 2020年2月19日(水) 18:30～20:00

会 場： ミュージアムタワー京橋 16階 Café16

定 員： 70名(申込み順)

参加料： 無料

申込方法： お名前をご記載のうえメール (seminar@kyobashi-saiku.tokyo) にてお申し込みください。

Peatix (<https://peatix.com/event/1414820>) からの申し込みも可能です。

Peatixからの
お申し込み



< 講師 >



TONERICO:INC. 代表 米谷ひろし氏

1968年生まれ。1992年武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科卒業。2002年TONERICO:INC.を設立し同代表。現在、多摩美術大学環境デザイン学科教授。日本インテリアデザイナー協会選考委員。



TONERICO:INC. 取締役 君塚賢氏

1973年生まれ。1998年武蔵野美術大学建築学科卒業。2002年TONERICO:INC.設立に参加。現在、武蔵野美術大学非常勤講師。

< TONERICO:INC. について >

2002年設立。建築、インテリアから家具、プロダクトに到るまで多岐にわたり活動。ミラノサローネサテリテデザインレポートアワード最優秀賞、JCDデザイン賞金賞ほか受賞歴多数。代表作に銀座 蔦屋書店、Loft 店舗開発、池袋西武「光の時計口」、花桔梗、青山見本帖、藤家具「ami」シリーズなど。

今後の予定

第5回 2020年3月18日(水) 18:30～20:00

アーティゾン美術館のサイン計画を担当された廣村デザイン事務所の廣村正彰さんにお話を頂く予定です。会場はミュージアムタワー16階のCafé16です。

第6回は5月に予定しています。講師や日時などの詳細は決定次第、京橋彩区のウェブサイトに掲載します。